

大阪公立大学医学部附属病院職員扶養手当規程

制 定 平成 31. 4. 1 規程 151
最近改正 令和 4. 3. 31 規程 490

(趣旨)

第 1 条 この規程は、大阪公立大学医学部附属病院職員給与規程（以下「給与規程」という。）
第 14 条の規定による扶養手当の支給について定めるものとする。

(届出)

第 2 条 給与規程第 15 条に定める届出は、所定の扶養手当（認定・取消）申請書を理事長
に提出して行うものとする。

(認定)

第 3 条 理事長は、職員から前条の届出を受けたときは、当該届出に係る扶養親族としよう
とする者（以下「被扶養者」という。）が給与規程第 14 条第 2 項に定める要件を備えてい
るかどうか確かめて扶養親族の認定を行うものとする。

2 被扶養者が次の各号のいずれかに該当する者であるときは、その者を扶養親族として
認定しない。

- (1) 民間その他から扶養手当又はこれに相当する手当の支給を受けている者
- (2) 年額 1, 300, 000 円程度以上の所得がある者
- (3) 被扶養者が心身に著しい障害がある者である場合は、前 2 号によるほか、その障害
の程度が終身労務に服することができない程度でない者

3 職員が他の者と共同して同一人を扶養する場合には、その職員が主たる扶養者である
場合に限り、その者の扶養親族として認定するものとする。

(添付書類)

第 4 条 扶養手当（認定・取消）申請書には、次の各号に掲げる書類を添付しなければならない。
ない。

- (1) 被扶養者が、給与規程第 14 条第 2 項各号に掲げる親族であることを証明する書類
- (2) 被扶養者が職員と生計を一にし、かつ、主として職員の収入により生計を維持して
いることを証明する書類
- (3) 被扶養者の所得額又は所得のないことを証明する書類
- (4) 被扶養者が心身に著しい障害がある者である場合は、その事実及びその事実の生じ
た日並びにその程度を証明する書類
- (5) 扶養親族たる要件を欠くに至ったときは、その事実及びその事実の生じた日を証明
する書類
- (6) その他理事長が必要と認める書類

- 2 理事長は、必要がないと認めるときは、前項各号に規定する添付書類の全部又は一部の提出を省略させることがある。

(事後の確認)

第5条 理事長は、必要があると認めるときは、現に扶養手当の支給を受けている職員及びその扶養親族が給与規程第14条第1項及び第2項に定めるそれぞれの要件を備えているかどうか並びに扶養手当の支給額が適正かどうかについて確認するため、当該職員に対し、扶養の状況等について報告を求め、又は必要な書類の提出を求めることがある。

附 則

(施行期日等)

- 1 この規程は、令和元年11月1日から施行し、平成31年4月1日から適用する。

(定義)

- 2 この附則において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

- (1) 病院承継職員 平成31年3月31日に合併前の公立大学法人大阪市立大学に在職し、合併前の大阪市立大学医学部附属病院職員就業規則を適用されていた職員で、合併により公立大学法人大阪に身分を承継されたものをいう。
- (2) 病院区分職員 この規程が適用される職員で、阿倍野地区（医学部附属病院）事業場及び阿倍野地区（MedCity21）事業場で勤務するもの（前号の職員を除く。）をいう。

(合併に伴う特例措置)

- 3 本則の規定にかかわらず、令和4年3月31日までの期間においては、病院承継職員及び病院区分職員に対する扶養手当の支給は、（旧）大阪市立大学医学部附属病院給与規程及び附属する規程等に定める内容を適用する。

附 則（令和4.3.31 規程490）

この規程は、令和4年4月1日から施行する。